製造業のみなさまへ

製造業

お申し込みからの流れ

Step 01 お申し込み
事業サイトよりお申込みください。

Step 02 事業説明・現状ヒアリング
担当が本事業についてご説明のうえ、現状について伺わせていただきます。

Step 03 ナビゲーターによる支援（最大5回）
認定ナビゲーターによる伴走型支援で、デジタル診断や経営課題・業務課題の整理、簡易的な業務の棚卸を行います。

Step 04 簡易提案書の作成・報告
デジタル化への取り組み状況に応じた簡易提案書を作成・報告します。
経営課題解決に向けて、デジタル化への一歩を踏み出しましょう！

製造業におけるデジタル化成功事例

デジタルサイネージを設置し、コミュニケーションの質が向上

設置した工場の現場から「こんな使い方もしてみたい」という意見が出てきた時には、双方向のコミュニケーションができていると感じられた。工場サイドから実践的な要望として、タッチパネル方式による製造マニュアル動画の検索など、サイネージに詳しい人間でも気づかないような提案も出てきている。

情報共有により、エンゲージメントの向上を目指す

一番のテーマは「社員と組織のエンゲージメントを上げること」だと話す。
愛社精神を更に感じてもらい従業員と共に成長するということをテーマに、従業員のエンゲージメントを高めることで、結果生産性が上がる方向に切り替えたいと考えているようだ。

お問い合わせはこちら

都内中小企業向けデジタル技術導入促進ナビゲーター事業
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2　新宿サンエービル6F

FREE **0120-056-003**
受付時間：平日10:00～17:00
（土・日・祝日、年末年始を除く）

ADE.JP.degi-navi@jp.adecco.com

東京都 デジナビ　検索

※本事業は、東京都より委託を受けアデコ株式会社が運営しています。

https://tokyo-diginavi.metro.tokyo.lg.jp

東京都　都内中小企業向けデジタル技術導入促進ナビゲーター事業

デジタル化で見える課題解決のビジョン

経営課題の解決に向けた取組をサポート

製造業のみなさまへ

参加費 無料

TOKYO デジナビ

事業期間　2023年5月22日(月)～2024年3月31日(日)

参加企業数が上限に達しましたら、受付終了とさせていただきます

なにができるの？「デジタル技術導入促進ナビゲーター事業」

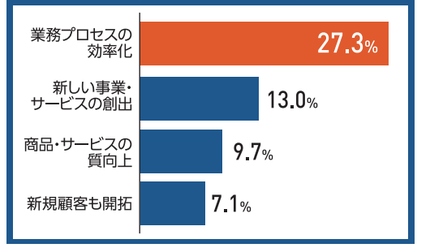
「デジタル化やIT活用といっても、どこから手をつけたら良いのかわからない」「生産性をあげたいが、どのように管理したらいいのかわからない」、そんなお悩みはありませんか？

認定ナビゲーターによる最大5回の伴走型支援を行うことで、会社の経営課題をデジタル化により解決することをサポートします。

具体的には、経営課題、業務課題、デジタル化への状況についてヒアリングを行い、業務課題を整理したうえで、簡易的な業務の棚卸を行い、各企業のデジタル化への取り組み状況に応じた簡易提案書を作成・報告します。

※東京都や国の助成金・補助金のご案内をしますが、助成の確約をするものではございません。

Q デジタル化の取組にあたり重視している項目



（出典：令和2年度中小企業のデジタル化に関する調査／中小企業庁）

募集対象

都内に事業所を置く中小企業等
※詳しくはお問い合わせください。

https://tokyo-diginavi.metro.tokyo.lg.jp

製造業のお仕事

お客様の関心事・お困り事をお聞かせください

お客様の関心事・お困り事

営業・見積

〈案件依頼〉〈見積・設計〉〈受注〉

- □ リアルの商談機会が減っていて、新たな営業手法で案件獲得が必要 ➡ 解決①
- □ 図面の変更点確認洩れにより、製造ミスが起きてしまうことがある ➡ 解決②
- □ 設計変更が多く、試作に多大な時間とコストを要している。製品ができる前に問題を解決したい ➡ 解決③
- □ 案件を受注の際、CADデータでの図面受け渡しを要望されることが増えている ➡ 解決③

生産管理

〈生産計画〉〈資材手配〉〈製造指示〉

- □ 見積作成時に必要な情報をスピーディーに集めることが難しい ➡ 解決④
- □ 受注状況や必要在庫、各案件の進捗状況などの生産管理情報を一元で可視化したい ➡ 解決④
- □ 顧客ごとや案件ごとの売上・粗利を正確に把握し、管理したい ➡ 解決⑤
- □ 図面など紙情報を本社と工場で情報共有したいが取り回しが悪く手間がかかっている ➡ 解決⑥
- □ 取引先からの案件の種類やボリュームで柔軟に工場のシフト調整をしていきたい ➡ 解決⑦

生産技術・製造

〈作業指示〉〈製造〉〈品質審査〉

- □ 作業指示書等の製造ドキュメントの電子保管に手間がかかっている ➡ 解決⑥⑧
- □ 製造に必要な生産設備や治具の設計に労力がかかっている ➡ 解決⑨
- □ 実際の作業工数が作業標準と乖離してしまっている ➡ 解決⑩
- □ ベテランから若手への技術伝承がなかなか進まない ➡ 解決⑩
- □ 設備の稼働率が上がらず、生産性が向上しない ➡ 解決⑪

基幹・経営

〈人材獲得〉

- □ 技術者の高齢化や若手の採用難で人材確保に手を打ちたい ➡ 解決⑫
- □ ホームページの更新や拡充に多くの費用がかかっている ➡ 解決⑫

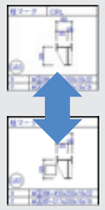
お客様の生産性向上に繋がる解決策（製造業編）

解決① 販路拡大にむけたデジタル活用

●中小製造業ならではの簡単なデジタルマーケティングによりインターネット経由での新規問合せを増やします

解決② 図面比較業務の改善

●新旧図面の比較作業を半自動化。チェック時間の短縮やヌケ・モレを防止できます



解決③ 製品設計の効率化

●3DCADデータを有効活用し設計レビューや変更作業などの業務効率化をご支援します

解決④ 生産管理業務の効率化

●表計算ソフトで管理をしている生産管理情報を一元化し、各情報を連携させることで検索性の向上や転記ミスを防ぐことができます

解決⑤ 適正な見積／原価管理

●顧客や案件、工程などを管理することで、シンプルに原価構造の可視化ができます

解決⑥ 図面電子化による管理効率化

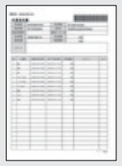
●最新の製造情報を電子化し、必要な時に必要な情報を取得することで作業の効率化が図れます

解決⑦ 工場の柔軟なシフト管理の促進

●様々な勤務形態の製造業だからこそ、柔軟な勤怠管理を始めませんか？工場の稼働調整にしっかり対応します

解決⑧ バーコードで簡単電子保管

●生産管理システムで添付されるバーコードや2次元バーコードを活用し図面や作業指示書を案件ごとに簡単スピーディーに電子化&保管ができます



解決⑨ 装置や設備設計の効率化

●高速処理性能を持つ3DCADでストレスなく装置や設備の設計ができます

解決⑩ 動画による技術伝承の促進

●作業動画を分析し、標準化、動画付きマニュアル作成できます。熟練者と若手の作業動画を比較ソフトで分析、ドキュメント化することで、円滑な技術伝承をご支援します

解決⑪ 設備稼働状況の可視化

●生産設備の稼働状況を正確に把握することにより、稼働率を上げ、生産性の向上をご支援します

解決⑫ 魅力的な自社PR

●ホームページ活用で自社を魅力的にPRできます。人材募集と取引先への技術力アピールの両方をご支援できます